

# simc News Letter

Sendai International Music Competition

2022年6月20日号

## 仙台国際音楽コンクールニュースレター

第8回仙台国際音楽コンクール【開催日程】ヴァイオリン部門 2022.5.21(土)～6.5(日) ピアノ部門 2022.6.11(土)～2022.6.26(日)

第8回仙台国際音楽コンクール・ピアノ部門全体レポート  
セミファイナル 第2日 2022年6月18日(土)

尾形 牧子

(仙台国際音楽コンクール企画推進委員  
公益財団法人日本ピアノ教育連盟東北支部支部長)



ピアノ部門セミファイナル2日目の6月18日(土)、晴天に恵まれ、また土曜日の14時開演とあって聴衆の数が多かったです。

オーケストラの方々が登場すると、聴衆も審査委員も全員で拍手をし、温かな雰囲気のもとコンクールが始まります。

2日目のコンテストは、韓国のイ・セボム1996年生、ベートーヴェンのピアノコンチェルト第1番。イギリスのジョージ・ハリオノ2001年生、モーツァルトのピアノコンチェルトK450。日本の黒崎拓海1994年生、同じくモーツァルトのピアノコンチェルトK450。そしてドイツのジョンファン・キム2000年生、モーツァルトピアノコンチェルトK459。同じK450が真ん中で続きましたが、それぞれの思いが伝わる解釈・表現・音作り他と、大いに楽しんで聴くことが出来ました。コンテストそれぞれの演奏が素晴らしく、どれほどピアノと向き合い、どれほど楽譜を読み、どれほど研鑽を積んだのだろうと頭が下がりました。またオーケストラとの一体感もあり、頼もしく感じられました。

先日(6月14日)の河北新報朝刊に、「残照」として、第1回から第7回の長きにわたり、仙台国際音楽コンクールピアノ部門審査委員長をおつとめになられた野島稔先生に関する記事が掲載されていました。ご覧になった方も多いと思いますが、「野島先生は、審査でコンテストの駄目な部分を見つけるよりも、良いところを探すことに集中した。作品に対するご自分の意見はしっかり持ちながらも、異なる解釈を頭ごなしに否定することはなかった。」とコンクール事務局職員が語っています。

昨年12月のある日、メトロポリタンホテル池袋のレストランで、野島先生が数人の方とお食事をとりながらお話をしていらっしゃいました。たまたま隣のテーブルに居合わせた私にも野島先生のお話が聞こえてきました。「先日のワルシャワでのショパン国際ピアノコンクールで優勝したカナダのブルース・シャオユー・リウは、2016年の仙台国際音楽コンクールに出場し、第4位になった人なんだよ」と。先生覚えているのですか？との問いかけに「勿論だよ」と。私は仙台市民の一人として何故か嬉しく聞いていたのを思い出し、この場をお借りし、野島先生の長年のご功績に心より敬意を表します。

河北新報の記事の最後には、コンクール事務局職員のコメントとして、「野島先生が中心となり築いてきた仙台国際音楽コンクールの伝統をこれからもつないでいく」と書かれています。

今年の仙台国際音楽コンクールも後半に入りました。3日目のセミファイナルが終わるといよいよファイナル、審査委員の先生方の長時間の審査、本当に大変なことと思います。審査なさっているお姿を拝見し、心より尊敬申し上げます。

聴衆の皆様の足取りは、演奏の余韻を感じているのでしょうか、軽やかな帰路でした。

♪コンクールの演奏をYouTubeでお楽しみいただけます。  
第8回仙台国際音楽コンクールでは、両部門の予選から表彰式、ガラコンサートまでのライブ配信を4K60pで行っています。また演奏日の翌日から9月30日(金)まで期間限定でオンデマンド配信も行いますので、ぜひご視聴ください。

第8回仙台国際音楽コンクール公式サイト  
[https://simc.jp/8th\\_competition/](https://simc.jp/8th_competition/)  
Facebook :@SendaiInternationalMusicCompetition  
twitter :@sendai\_simc



■お問い合わせ先／公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: <https://simc.jp>